

教職員との意見交換会 及び 令和6年度第5回江府町学校運営協議会 議事録

■期 日:令和6年12月20日(金)

■時 間:13:30~16:00

■場 所:日野川校舎 多目的ホール

日野川校舎 会議室(学校運営協議会)

《教職員との意見交換会》 13:30~14:30

<出席者>

【教職員】奥大山江府学園教職員 26名

【委員】宮本会長、井上裕吉副会長、井上廉女委員、高津委員、藤原委員、加藤浩美委員、
遠藤委員、加藤千恵子委員、景山委員(欠席:川端委員、北村委員、船越委員)

【事務局】稲村副校長、山本教頭、竹田 CSD

1 開会

挨拶 学校運営協議会 宮本会長
奥大山江府学園 景山校長

2 グループ協議の方法、守秘義務について(竹田 CSD)

3 グループ協議(7グループ)

グループ内で自己紹介

【テーマ】児童生徒たちが公共性・主体性を身につけるために出来ることとは
(学校でできること、地域でできること、家庭でできること それぞれの視点から)

【全体共有】3グループが発表

	公共性	主体性
1班	<p>【自分の言葉で伝える力をつける】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大人が見守り、子どもが自分で話す ・自分の意見を言葉で説明する力 <p>【他者との交流をする】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校外や他学校との交流 ・同年代(少し年上)の社会人との話 ・校内に地域の方が入って共同学習の機会増加 ・地域行事に子どもが参加 <p>【普段の生活】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に自分から挨拶をする ・時間を守る ・丁寧な掃除 ・公共施設の利用について一緒に考える 	<p>【自分で準備・考える】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分で準備させ、自分で考える場を大事にする <p>【自己選択の場を作る】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選択肢と選択の場を増やす ・「みんな」ではなく「あなた」、「自分達」ではなく「自分」という意識を育てる <p>【自己肯定感を高める】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周りが心配しすぎない ・失敗をさせる、失敗しても大丈夫 ・振り返りを大事にする <p>【将来について考える】</p> <p>【組織運営を自分達でする】</p> <p>【豊かな体験をさせる(放課後の活用)】</p>
3班	<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時と場合に応じて敬語を使うなどの指導 <p>【地域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の一員であると思える経験 ・地域の方に叱られる、鍛えられる経験 <p>【家庭】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭内で決まった事をさせる 	<p>【地域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供会の活動を活発化する ・自分達でイベントの企画、運営をする。そのための時間はたっぷりとする。 <p>【家庭】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の活動に親子で参加する ・自分で考えた事をさせる(家事)

	【他】 ・JRなどの公共交通機関の利用経験 ・社会のルールの大切さを知る経験 ・自衛隊やお寺での研修、子どもだけの合宿	【他】 ・親子ものづくり教室
5班	・他地域の公共の場に行く ・子ども同士で遊ぶ機会を増やす ・自信を持たせる ・愛情をしっかりと伝え、見ているよ、あなたが大切だよという安心感を与える	

4 閉会

引き続き

《令和6年度第5回江府町学校運営協議会》 14:40~16:00 日野川校舎 会議室にて

<出席者>

【委員】宮本会長、井上裕吉副会長、井上廉女委員、高津委員、藤原委員、加藤浩美委員、遠藤委員、加藤千恵子委員（欠席：川端委員、北村委員、船越委員、景山委員）

【事務局】持田指導主事、山本教頭、竹田 CSD

1 協議

意見交換会の残り4グループについて共有

	公共性	主体性
4班	・他校との交流の場をつくる ・校内のルールやマナーを意識する ・集落の役に参加する	・子供会を活性化させる ・挑戦の場、自分を知る機会を与える ・成功体験を増やす ・家庭で、自分で出来そうなことはやってみる
	・保護者が保護者として学ぶ場を提供することが必要	
2班	・公共の場での過ごし方を考える ・町内ではなく町外での経験を増やす ・地域の行事に参加する ・公共交通機関を利用する	・時間の考え方を自分で考える ・本人に任せる場を増やし、過保護にしない ・自分の生活を振り返り、課題を見つける時間をもつ ・自分達で企画し、運営する場を与える
	・校区外で、公共交通機関を利用した体験学習をさせる	
6班	・校外学習に出掛ける ・TPOに応じた指導をする ・社会とのかかわりをもつ ・地域と協力するイベントを増やす	・出来ていることを評価する ・自分のことは自分でする ・失敗できる環境、集団づくり、見守る姿勢 ・自分の考えを聞いてもらう、表現する場を増やす ・家庭での役割を持たせる
	・家庭でできることについて、保護者が主体的に学ぶ機会をつくる必要がある	
7班	【自分の知らない世界を知り見聞を広める】 ・行った事がないところに行ってみる ・自分のルーツをたどる ・色々な本を読む 【挨拶運動をする】 【ふるさと江府を知る】 ・地域の行事に参加する	【子どもたちが主体となって活躍できる機会を与える】 ・異学年交流を深める行事を企画する ・子どもたちが主体となる機会をつくる 【自分で考えるようにうながす】 ・自分が好きな事をリストアップする ・困った時に相談出来る人を見つける

7班	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが町内で出掛け、色々な社会と大人に触れる機会をつくる 【公共の場にふさわしい態度とマナーを身につける】 ・時間を守る ・町外の公共施設にどんどん行く 	
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが活動するための設備等、環境の整備が必要 		

全体を通して

- ・保護者の学校や子供へのかかわりが少ない事が問題だと思う。どうしても忙しい日々ではあるが、家庭の役割は大きい。家庭が教育に関わっていく必要があると思う。
- ・地域の方で関わってくださる方が固定されていて、人数も少ないのでなかなか広がらない。もっと色々な方に関わってもらいたいと思うが、難しい。
- ・愛ベルの使い方について、各所で問題になっている。ただダメだと言うのではなく、環境について再度大人が考えたり、整備したりする必要があると思う。
- ・子どもたちは自由に遊ぶ場、遊ぶ時間が欲しいと思うが、帰宅してしまうと近くに友達がいない。今のままでは思うように遊べていないと思うので、環境整備が必要である。
- ・学校運営協議会の活動中においても、普段の様子が分かっていないと子どもとの接し方が難しい。本日のように、教育の現状を学校も含めてしっかりと話し合う場を持つことが大事だと思った。